

<p>【技術の名称】 アルファフォースパイルⅡ工法 -回転貫入鋼管ぐい工法- (改定 1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-35号 改1 性能証明発効日：2023年1月27日</p> <p>【取得者】 エイチ・ジー・サービス株式会社 有限会社天王重機</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端に先端蓋と先端翼を一体化した部品を溶接接合したものを回転させることで地盤中に貫入させ、これをくい材として利用する技術である。本工法の地盤から決まる押込み方向の鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0659～0662（令和4年12月15日）、および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-22-231A-013～016（2022年10月31日）を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたいの地盤から決まる引抜き方向の支持力に関するものである。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第17-35号（2018年4月9日）
 改定1：GBRC 性能証明 第17-35号 改1（2023年1月27日）
- ・軸鋼管の材質の追加（SKK400、SKK490、HU590、SEAH590）
 - ・タイプⅡの先端翼取付き部品の仕様を追加

【技術開発の趣旨】

本技術は、先端蓋と先端翼を一体化した部品を用いることで、加工コストを低減させるとともに、加工精度を向上させている。また、先端翼をなめらかな螺旋形状とすることで、回転貫入時の施工性の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「アルファフォースパイルⅡ工法 設計指針」および「アルファフォースパイルⅡ工法 施工指針」に従って設計・施工された先端翼付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計指針に定める標準貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

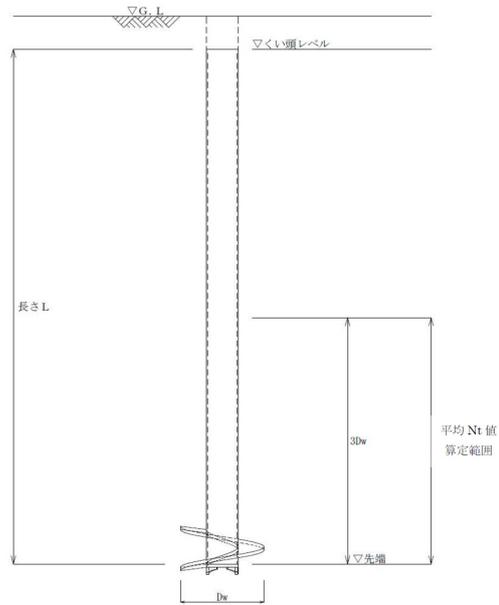


図1 補強材の構成

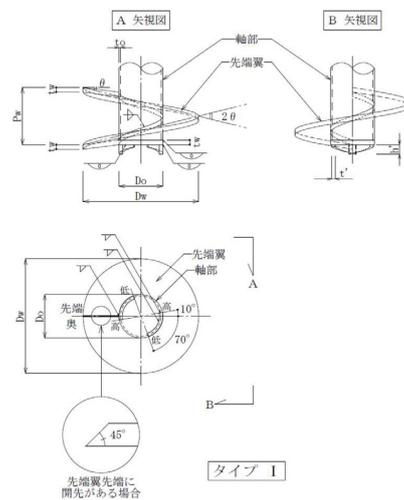


図2 先端翼及び掘削刃の形状

【本技術の問合せ先】

エイチ・ジー・サービス株式会社 担当者：樋口 雅久
 〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森 1-11-7
 有限会社天王重機 担当者：山本 健一
 〒435-0052 静岡県浜松市東区天王町 755-5

E-mail：cmh21jp@nifty.com
 TEL：043-290-0112 FAX：043-290-0013
 E-mail：tennoh@dune.ocn.ne.jp
 TEL：053-421-8766 FAX：053-421-8722